

全般	登録
<ul style="list-style-type: none"> <li>鳥取大学研究成果リポジトリとは何ですか？</li> <li>なぜリポジトリが必要なのですか？</li> <li>電子ジャーナルがあれば、リポジトリはいらないのではないですか？</li> <li>現在どれくらいの機関がリポジトリを公開していますか？</li> <li>リポジトリの品質管理についてどのように考えていますか？</li> <li>個人や研究室のHPですでに論文を公開していますが。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>誰がリポジトリに登録できますか？</li> <li>何をリポジトリに登録するのですか？</li> <li>雑誌論文を登録するにはどうすればいいですか？</li> <li>電子ジャーナルのファイルを送ればいいですか？</li> <li>別刷を送ればいいですか？</li> <li>研究科で発行している紀要を登録して欲しいのですが。</li> <li>過去に発行された紀要は登録してもらえますか？</li> <li>学位論文をリポジトリに登録したいのですが。</li> <li>講義を撮影した動画ファイルも登録できますか？</li> <li>容量が大きいファイルはどのようにして送ればいいですか？</li> <li>Texで作成したファイルを送っていいですか？</li> <li>本文と図表が別のファイルでもいいですか？</li> <li>原稿は校正が入っていないため、リポジトリへ登録したくないのですが。</li> </ul>
権利関係	
<ul style="list-style-type: none"> <li>著作権法上問題は無いのですか？</li> <li>この論文には共著者がいるのですが、登録には共著者の同意が必要ですか？</li> <li>出版社や学会への許諾手続きは誰が行うのですか？</li> <li>登録した場合図表等を盗用される可能性があると思いますが、その対処は考えていますか？</li> <li>プレプリントを登録した場合、その内容を誰かに盗用されないか心配なのですが。</li> </ul>	

## 全般

- Q:** 鳥取大学研究成果リポジトリとは何ですか？
- A:** 鳥取大学が設けるインターネット上の電子書庫のことです。学内の研究者や学生等の研究成果物を収集・保存し、インターネットを通じて無償で学内外へ発信します。2009年3月に正式公開し、2011年11月時点で紀要論文を中心とする約2500件のコンテンツを収録しています。
- Q:** なぜリポジトリが必要なのですか？
- A:** 研究成果の入手可能性を高めることにより、ご自身の研究成果の利用度やインパクトを最大にするためです。また、これまで入手困難であった資料を広く公開することにより、研究・教育への貢献が出来ると考えています。その他、学内で生産された学術成果の一元的管理及び発信を行うことで、国立大学としての説明責任の履行や、ブランドイメージの向上をも目指しています。
- Q:** 電子ジャーナルがあれば、リポジトリは必要ないのではないですか？
- A:** 電子ジャーナルの購読には多額の購読料が必要であり、その価格も毎年値上がりしている状況下で、電子ジャーナルを利用できない研究者、学生が数多く存在します。リポジトリはこうした方々、大学などに所属しない一般の市民が大学の学術情報にアクセスすることを可能にし、学術流通の新しい手段となることが期待されています。
- Q:** 現在どれくらいの機関がリポジトリを公開していますか？
- A:** 国によるCSI委託事業の推進により、2011年11月現在、国内で212機関により149のリポジトリが公開されています。(NII調べ。)また海外でも、2011年11月の時点で2500以上のリポジトリが公開されています。(サザンプトン大学のRegistry of Open Access Repository 参照。)
- Q:** リポジトリの品質管理についてどのように考えていますか？
- A:** 現時点では、鳥取大学で生産された研究・教育成果や鳥取大学でしか集められない資料を幅広く収集し、利用してもらうことが重要であると考えておりますので、例えば収集対象を査読済み雑誌掲載論文に限定するような品質管理は行っておりません。
- Q:** 個人や研究室のHPですでに論文を公開していますが。
- A:** リポジトリでは、論文等のタイトル、著者名、キーワードなどをメタデータとして登録するため、グーグル等で検索したときにヒットしやすくなります。また、CiNii等の文献データベースの検索結果からリポジトリの本文へのリンクが作成されますので、こうしたデータベースからも利用されやすくなります。

## 登録

- Q:** 誰がリポジトリに登録できますか？
- A:** 鳥取大学の構成員であれば誰でも登録可能です。
- Q:** 何をリポジトリに登録するのですか？
- A:** 鳥取大学で生産された研究・教育成果物です。具体的には、雑誌論文・紀要等の学内刊行物・学位論文・会議録・講演資料・研究報告書・単行書・教材などです。原則として、鳥取大学に所属されている間の成果物を対象としますが、特に希望される場

合はこの限りではありません。

Q: 雑誌論文を登録するにはどうすればいいですか？

A: まず、登録されたい資料が何か(雑誌論文であれば誌名、巻号、頁数などの書誌事項)を ac-gakuju@adm.tottori-u.ac.jp 宛にお知らせ下さい。登録可能な資料かどうか確認いたします。その上で、登録可能な場合は原稿ファイル(Word, PDF など)をメールでお送り下さい。

Q: 電子ジャーナルのファイルをそのまま登録できますか？

A: 出版社や学会ごとに対応に違いがあり、大まかには下の4パターンがあります。

1. 電子ジャーナルのファイルそのままの登録を認めているところ
2. 電子ジャーナルのファイルの登録は認めず、著者の手元にある査読後、校正・編集前の原稿の登録を認めているところ
3. 電子ジャーナルのファイルの登録は認めず、著者の手元にある査読前の原稿の登録を認めているところ
4. 登録をみとめていないところ

Elsevier、Springer など海外の主要な出版社・学会は2のパターンが多く、日本の学会では方針が決まっていないところが6割以上を占めていますが、一部1のようなパターンもあります。希望される資料がどれに該当するかは図書館で個別に確認いたします。

Q: 別刷を送ればいいですか？

A: 別刷も出版社や学会がレイアウトをしておりますので、上記の電子ジャーナルファイル同様の扱いとなります。

Q: 研究科で発行している紀要を登録して欲しいのですが。

A: 著作権の処理(著作権者の許諾)が済んでいれば登録できます。継続して紀要を提供いただける場合には「鳥取大学研究成果リポジトリ登録承諾書」をご提出ください。

Q: 過去に発行された雑誌の論文は登録してもらえますか？

A: 著作権者の許諾が得られれば登録できます。国内学会では、過去に遡って電子化と公開の許諾を行っている例があります。

Q: 学位論文をリポジトリに登録したいのですが。

A: 電子ファイルと「鳥取大学研究成果リポジトリ登録承諾書」を図書館までお送り下さい。送付はメール・学内便どちらでも結構です。電子ファイルが無い場合は図書館で紙媒体から電子ファイルに変換いたします。

Q: 講義を撮影した動画ファイルも登録できますか？

A: 登録できます。

Q: 容量が大きいファイルはどのようにして送ればいいですか？

A: お手数ですが DVD 等に保存の上、学内便で「図書館情報課学術情報担当」宛に送付願います。

Q: Tex で作成したファイルを送っていいですか？

A: 結構です。Tex に限らず送っていただく際のファイルの種類は問いません。図書館で PDF に変換して登録いたします。

Q: 本文と図表が別のファイルでもいいですか？

A: 結構です。図書館で本文ファイルと図表ファイルをまとめて1つの PDF ファイルにして登録いたします。その際に本文中に図を挿入するといったレイアウト 作業までは行えませんのであらかじめご了承願います。

Q: 原稿は校正が入っていないため、リポジトリへ登録したくないのですが。

A: 校正されていない原稿は、実際に出版された論文と内容に大きな違いが生じる可能性もあります。もし、この点が気になる場合は、登録はお勧めできません。校正後の原稿ファイルがある、または、校正前だが内容的に公開しても問題ないという原稿がございましたら、ぜひお知らせ下さい。

## 権利関係

Q: 著作権法上問題は無いのですか？

A: 著作権が著者本人にある場合でしたら、著者の許諾により公開が可能です。著作権が出版社や学会にある場合は、出版社や学会の許諾があれば公開可能です。

Q: この論文には共著者がいるのですが、登録には共著者の同意が必要ですか？

A: 著作権が著者にある場合は、共著者の方への同意確認をお願いしています。図書館ではコンテンツをご提供頂いた段階で共著者の同意が得られているものと判断いたします。

Q: 出版社や学会への許諾手続きは誰が行うのですか？

A: 図書館で行います。

Q: 登録した場合図表等を盗用される可能性があると思いますが、その対処は考えていますか？

A: これは各人の倫理観の問題であり、紙媒体でも起こりうる話ですが、確かにインターネットで公開することにより、そのような可能性が高くなることはあります。図書館で作成した PDF に関してはコピーや抽出等の制限を加えることもできますのでご相談下

さい。

---

Q: プレプリントを登録した場合、その内容を誰かに盗用されないか心配なのですが。

A: まだ論文が出版されていない時期にリポジトリで公開することによって、内容の盗用の心配がある場合は、出版後に論文を提供して下さいますようお願いいたします。

---

問合せ：図書館情報課学術情報担当

Tel: 0857-31-5673 内線:7060

E-mail: [ac-gakuju@adm.tottori-u.ac.jp](mailto:ac-gakuju@adm.tottori-u.ac.jp)